

○幼児期の終わりまでに育てたい姿

・ **道徳性、規範意識の芽生え**

自分の行動の振り返り、相手の気持ちを大切に考えながら行動するようになる。

友だちと楽しくなる遊ぶための決まりがあることが分かり、ルールを守ったり、必要に応じて作り変えたり、工夫しながら守るようになる。

・ **協同性**

○子ども同士の間で生じるトラブル

3歳→物の取り合いが多い

年齢が上がるにつれ、**遊びや生活のきまりをめぐるトラブル**が大きな割合をしめる。

○集団遊びを行う中で想定される子どもの行動

活動に参加したがない、活動理解が難しい、不器用、自己表現が消極的



○集団遊びの中で重要だと考えられる内容

ルールや状況理解を促す、他者との関わり、自己表現を促す

○トラブルへの対応

・ **ルールをめぐるトラブル**

自分が思っているやり方と違う、自分は守れていると思っているのに他者が守れなかったことが許せない

・ **順番争いをめぐるトラブル**

一番にしたい複数の子どもが主張し、譲らない

・ **勝ち負けをめぐるトラブル**

負けたことを受け入れることができずに、勝つまで続けようとする



○子どもが感じていることを捉えることが重要。子どもの気持ちを推測し、自分の気持ちを表現できるように促す。

○ **実態相応の遊びを提案**する（発達段階も踏まえて）

○ **どのような経験**を子どもに提供したいのかねらいを明らかにして遊びを楽しむ。

○ **提示の仕方やルール設定、関わり方**など大人側の工夫や配慮。

○発達**は、働きかけによって変化が生じる**ものであり、状態や状況を**正しく把握**することから始める。

安心できるよう環境を整えること

遊びの例

○鬼ごっこ：鬼ごっこ、増え鬼、氷鬼、けいどろ等

年齢にあったルールの鬼ごっこ、持久力がつく、状況判断の能力が身につく、反射神経が養われる
創造性（もっと面白くしようと新たなルールを考える）、社会性（基本的なルールで遊ぶ）



○ボール遊び：ドッジボール、ボール運び、玉入れ等

視神経やバランス感覚の発達、視覚と動作のマッチング、体力・持久力、数字感覚、信頼関係、足腰を使う、空間認知

○じゃんけん遊び：じゃんけん列車、進化じゃんけん、新聞紙じゃんけん等

シンプルなルール、思考力、瞬発力を育む、タイミングを合わせて出す、自己決定に伴う責任、社会性を身につける、体を使った遊びへも発展

○その他：カードめくり、ハンカチ落とし、フルーツバスケット等

